



1/29 のテト（ベトナムの新年）を祝ったベトナム人実習生の皆さんの手作り料理。

2月に入りました。立春を過ぎ暦の上では既に春となりましたが、全国的に厳しい寒さが続いており、当校でも風邪等で体調を崩す実習生が出てきています。幸いインフルエンザや新型コロナウイルスに感染した実習生はいないのですが、この日本の冬を無事乗り切る為の体調管理に対する呼びかけが各教室では始まっています。また、先月29日（水）は中国・ベトナムからの実習生の皆さんが新年を迎えました。家族と離れ離れとなり、異国で迎える新年となりましたが、多くの皆さんが寮で母国の料理を作って、新天地での新しい年のスタートを祝っていました。

あじけんスコープ Vol.139 ～ウイルス等の感染予防対策の呼びかけ～



アルコールでの手指消毒の大切さを伝える岡田先生

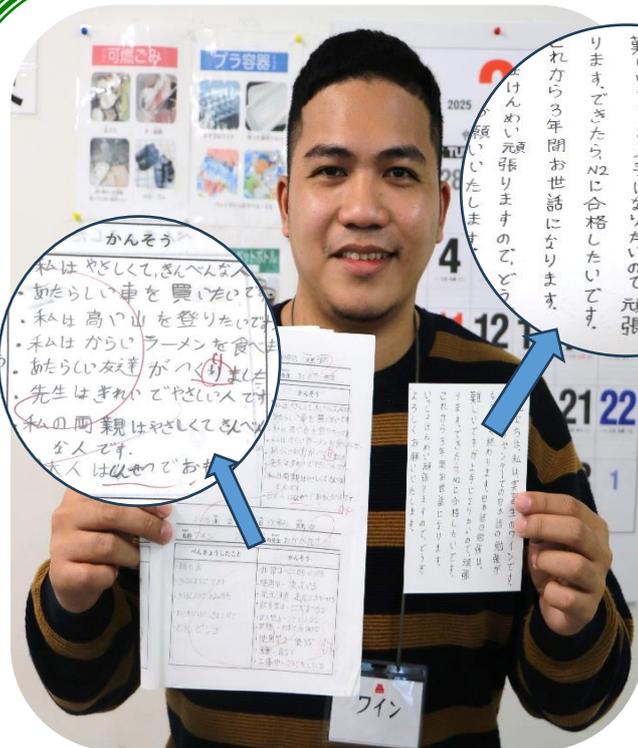
今月のあじけんスコープでは、1時間目の授業（朝の会の時間）の中で実践が始まった実習生への「インフルエンザ等の風邪予防」の呼びかけについてレポートします。今回の呼びかけは2月に入り、発熱や咳、喉の痛み等を訴えて早退や欠席をする実習生の数が増えてきていることへの対応です。風邪が流行する冬場の手洗いや手指の消毒、マスクの着用は多くの日本人に習慣化している行動ですが、実習生の皆さんがこれらの行動を習慣化して行えるようになるには、それなりの時間を要します。気温が低く、空気が乾燥している日本の冬を無事乗り切れるように、毎日、繰り返しの呼びかけを当面の間続けていきたいと思えます。

今月の実習生

今月の実習生は、難易度の高さから敬遠されがちな漢字学習に熱心に取り組んでいるフィリピン人実習生 MANLANGIT WINEBERT ARIZALA（ワイン）さんを紹介します。

漢字の習得数もさることながら1つ1つの文字をとっても丁寧に書くので、ノートも綺麗にまとめてあり、他の実習生の模範となっています

皆さん、おはようございます。私はワインです。フィリピンから参りました。子供の頃からアニメを鑑賞し漫画も読んでいます。そのために漢字に興味があります。漢字を覚えるのが楽しいですから、意味や書き方を勉強して、何回も書いています。漢字を学ぶ目的は、漫画を読みたいし、JLPTのN2試験に合格したいからです。今、日本にいますから、日本語の勉強を一生懸命頑張ります。



沢山の漢字が使われた日報とハガキを手にするワインさん

あじけん流日本語授業

～後輩のために講習目標を作る授業～

今月のあじけん流日本語授業は、先輩が後輩のために講習目標を作ろうという授業です。

常日頃、新しい実習生には当校での日本語学習や、生活にしっかりとモチベーションを持ってもらいたいと考えています。しかしながら、新しい世界で自分ができるようになることを想像するのは難しく、講師が話をしてもピンと来ていない様子が見られました。どうしたら実習生が目標を持って、モチベーションを下げずに学習や生活に取り組めるのかが私たち講師の課題でした。そこで、先輩の力を借りることを思いつきました。

先輩が当校の講習で自分ができるようになったことを考え、それを日本語にして、後輩に伝えるという方法です。先輩実習生ができるようになったことをリスト化し、そのリストを参考に、新しい実習生が目標を考えるという仕組みづくりをしたいと思います。

授業では、日本語だけでなく、生活面でも出来るようになったことを考えてもらいました。まず一人ずつで考え、その考えたことをグループで共有し、その後、グループでリストを作りました。お互いのグループのリストも共有し、「すごいですね」「それ、いいですね」「私もです!」という応答も加えて練習しました。

「会社の挨拶ができるようになりました」「確認ができるようになりました」「ゴミの分別ができるようになりました」「レストランで注文できるようになりました」などたくさんの「できるようになったこと」を発表してくれました。これらを今後はリスト化し、新しい実習生の目標づくりに役立てたいと思います。

講師にとっても学びが多い授業となりました。普段は「できていないな」と思ってしまうことも多々あります。しかし、実習生は自分でできることを意外とたくさん自覚していました。また、当校の講習は日本語だけでなく、日本で生活をするという面でも、実習生は多くの学びと成長があることがわかりました。これからも実習生の成長をしっかりと見ていきたいと思えます。



写真1：まずは一人で考えます



写真2：グループ内で共有



写真3：グループでリストを作ります



写真4：板書していきます

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。